

## 地域で支える安全安心なまちづくり事業 - まちの保安官制度



提案者	特定非営利活動法人 西大津駅周辺防犯推進協議会
県行政	青少年室・県民生活課
警察本部	生活安全企画課・大津署
大津市	自治振興課・都市再生室

- 課題認識
- ・現在の自主防犯組織では、防犯活動の実効性に限界がある。
  - ・志気の低い自主防犯活動では効果が低い。
  - ・同じ地域で消防団と防犯組織の位置づけに違いがある。

- 目 標
- ・各地域で自主防犯活動を実効性のあるものにしていくため、警察官との役割分担を明確にしながら、まちの保管官制度の創設を検討する。

- 課 題 等
- ・保安官と警察官との役割分担の調整。
  - ・現法規上は職務質問権等の民間人への権利付与は困難。現規制の整理。
  - ・青色回転灯や犬を連れてのパトロールなどすぐにできることと、権利付与など検討研究が必要なことの区分け。

### 現状制度は整理

### 青色回転灯・犬の運用はNPO活動として1/28から開始

- ・西大津だけでなく他地域でも使える仕組みの検討。先進地域の事例調査。

### 山梨県富士河口湖町へ現地調査

- ・防犯活動に関する傷害保険の研究検討。

### 2社と意見交換中

- ・NPOの思いは強く、警察の壁は厚いという状況下で、コーディネイター不在のため運営に苦慮している。

### 来年度からコーディネイターを設置予定

- ・役員間のチーム意識はこれから。

### 「専従化」を目指すNPOと「権限付与は不可能」との見解の行政で溝

### 青少年非行防止の観点からは未議論

- ・マスコミ取材や報道でNPOが先行したため急きょ対応方法を共有した。

### 決めたルールにそって外部に提供する情報はNPO活動促進室と調整しながら実施

- 予 定
- ・17年度：目標イメージの共有化 事業計画の策定
  - ・18年度：保安官をモデル設置して役割機能の検証 上記の継続
  - ・19年度：上記のバージョンアップ  
通常施策への反映調整

【活動経過】

第1回（H17.8.29 県合同庁舎多目的室 参加14名）

- ・課題認識について
- ・目指す姿について
- ・運営方法について

第2回（H17.9.20 県合同庁舎多目的室 参加12名）

- ・会議の情報公開について
- ・第1回からの意見確認について
- ・目標設定について

第3回（H17.10.26 県合同庁舎5-D会議室 参加14名）

- ・小出東大教授との意見交換会

第4回（H17.11.24 県合同庁舎6-A会議室 参加14名）

- ・防災ボランティア保険・青色回転灯や保安犬の運用・権限に係る規制や法的解釈

県外現地調査（H18.1.10～11 山梨県富士河口湖町 参加3名）

- ・防犯パトロール車・地域安全情報共有システム

第5回（H18.1.18 しが協働ル～ム 参加11名）

- ・防犯ボランティア保険・県外調査報告
- ・青色回転灯や保安犬によるパトロール実施予定・今後の取り組み

次回 2月下旬～3月上旬 開催予定

\* 内閣府都市再生プロジェクト「防犯対策等まちづくりの連携協働による都市の安全・安心の再構築」（新たな仕組みの構築や実験的手法の展開）17年度選定案件

# つながる・かがやく・かわる ～しが環境学習推進ネットづくりプロジェクト



提案者	特定非営利活動法人 NPO子どもネットワークセンター天気村 琵琶湖博物館はしかけグループ びわたん
県行政	エコライフ推進課（環境学習支援センター） 公募職員 5名（行政経営改革室・人権施策課・自然環境保全課・ 環境管理課・地域振興局森林整備課）

**課題認識**

- ・環境学習プログラムは各機関や所属で連携なくバラバラ実施していることが多く、学習者にとってもどれを選択すればよいのか分かりにくい。
- ・プログラムに参加しても学習者の力になっていない。
- ・参加者が限られており広がりが見られない。

**目 標**

- ・環境学習を環境だけの視点で捉えるのではなく、防災や福祉など多分野と絡らめて身近感、ワクワク感のある身に付くモデルプログラムを実施する。
- ・既存プログラムに対する関心を高めるため、提供者と学習者が共に使えるようなプログラムの質を表す物差し(例レダ-チャート、シート)を開発し普及を図る。

**課 題 等**

- ・環境学習をめぐる課題認識にズレ（行政の縦割り、施設間の連携が少ない、プログラムが力になっていない等）がある。

- ・協議を十分にしたい行政と、早く実行に移したいNPOという構図。

### 取り組み目標を手法や分野によって3つに班分け

- ・防災を取り入れた環境学習プログラム実施・・・この指とまれ班
- ・湖南地域における施設間の連携事業実施・・・かごめかごめ班
- ・県庁内の連携・調整（マネジメント）実施・・・はじめの一步班

### 具体的な実施方法は検討・調整中

- ・コーディネイター不在で目標設定に手間取る。

### 来年度からコーディネイターを設置予定

- ・部員間のチーム意識は醸成されつつある。

### 班分けしたことによって取り組み目標が明確になり、自発的な関わりがある

### 環境学習支援センターは必要に応じ参加（2回）

- ・広げるためには“LOHAS”を意識しおしゃれ感に配慮。

**予 定**

- ・17年度：事業実施に向けた準備・調整
- ・18年度：モデルプログラムの実施・検証（物差しの実証）
- ・19年度：上記のバージョンアップ  
通常施策への反映調整

【活動経過】

(H17.6.30・7.14・7.28：天気村とびわたんのテーマ統合について話し合う)

第1回(H17.8.18 環境学習支援センター 参加12名)

・課題認識について ・目指す姿について ・運営方法について

第2回(H17.9.8 草津市立まちづくりセンター 参加10名)

・目標設定について

第3回(H17.9.16 草津市立まちづくりセンター 参加5名)

・目標設定について

第4回(H17.10.13 琵琶湖博物館 参加11名)

・目標設定について(各部員からの宿題提案)

第5回(H17.10.28 合宿(旧日赤山荘) 参加10名)

・班分けの確認

第6回(H17.11.10 草津市立まちづくりセンター 参加8名)

・各班の内容検討

第7回(H17.12.8 草津市立まちづくりセンター 参加12名)

・各班の取り組み状況について

第8回(H18.1.19 草津市立まちづくりセンター 参加12名)

・各班の取り組み状況について

次回以降 全体部活...毎月第2木曜日に開催予定(2/9,3/9...)

各班部活...必要に応じ開催(全体部活の前に1回程度)

## 持続可能な社会を実現するための県民行動とは？

### - フードマイレージ・ウッドマイレージの低減



提案者	水政課
NPO	特定非営利活動法人HCCグループ（公募） 特定非営利活動法人エコ村ネットワーキング（公募） 安曇川流域・森と家づくりの会（公募）
県行政 関係機関	林務緑政課・農業経営課・環境こだわり農業課 滋賀県地球温暖化防止センター

- 課題認識**
- ・CO<sub>2</sub>を削減し環境負荷の低い、持続可能な社会づくりを進めていくための有効な手立てが少ない。
  - ・地産地消の広がりが十分でない。
- 目標**
- ・マイレージという県民になじみのうすい指標を調査研究し、実証実験を踏まえながらその普及を図る。
  - ・対象品目について、現状と県内自給した場合のCO<sub>2</sub>排出量のデータを蓄積する。
- 課題等**
- ・コーディネイターが最初から関わることで運営が円滑に行われている。  
**来年度は必要経費を予算化**
  - ・マイレージは算定できそうだが、需要側へのアピール手法の検討。  
**大まかなウッドマイレージは今年度中に算定できそうだが、フードマイレージは流通経路が複雑で把握が難しく算定ができるか(条件を絞る)**  
**フードは販売実験方法を検討中、ウッドはアピール方法を検討中**
  - ・部員間のチーム意識は醸成されつつある。(NPOに限らず広く事業者、学識者、学生等が新しく入る場合あり)  
**ウッド・フードに班分けをして、自発的にデータ資料や調査結果を持ち寄って検討**
- 予定**
- ・17年度：基礎データの収集・整理                      実験事業の企画・調整
  - ・18年度：実験販売の実施・検証  
(2年間で解散予定)  
通常施策への反映調整

【活動経過】

第1回（H17.8.26 県合同庁舎多目的室 参加17名）

・マイレージについて ・課題認識について ・目標について ・運営方法について

第2回（H17.9.16 県合同庁舎3-C会議室 参加12名）

・ルールの確認 ・進め方について ・対象品目について

第3回（H17.10.17 県合同庁舎多目的室 参加15名）

・対象品目の決定（フード：米・麦・ほうれん草） ・役割分担の決定

第4回（H17.11.4 県合同庁舎5-C会議室 参加14名）

・取り組みスケジュールの確認（現状調査・事例検証・可能性評価調査）

第5回（H17.12.15 しが協働ル～ム 参加11名）

・各班の取り組み状況 ・原木市場調査報告

第6回（H18.1.17 しが協働ル～ム 参加8名）

・フードマイレージの取り組み検討

次回予定

・H18.2.28 ...以降、月1回程度開催予定